

JCI 認定病院

埼玉医科大学のミッション

<http://www.saitama-med.ac.jp/kokusai/index.html>

埼玉医科大学

国際医療センターニュース

SAITAMA MEDICAL UNIVERSITY INTERNATIONAL MEDICAL CENTER NEWS



CONTENTS

- | | |
|---------------------------------|--|
| 2P 海外での医療支援1：心臓血管外科 | 10P 入院して治療をうけている子供達に学習の空白を作らないために：たんぼぼ院内学級 |
| 3P 海外での医療支援2：MEサービス部 | 11P 腰痛との付き合い方 その4：リハビリテーションセンター |
| 4P 診療科のご紹介：造血管腫瘍科 | 12P 教育研究棟新築工事地鎮祭 |
| 5P 患者サロンに参加してみませんか。：看護部 | 丸木清浩名誉理事長が「渋沢栄一賞」を受賞 |
| 6P お薬に関する豆知識：薬剤部 | 13P 第8回市民公開講座（報告） |
| 7P 食物繊維とっていますか？：栄養部 | 次回の市民公開講座（お知らせ）：市民公開講座実行委員会 |
| 8P 放射線治療における「タイムアウト」について：中央放射線部 | 14P お寄せいただいたメッセージの紹介：医務課 |
| 9P 臨床検査技師について：中央検査部 | 15P 私の時間：ねこと暮らす／私の休日 |

当院は平成27年2月7日に大学病院としては日本ではじめてJCI(国際病院評価機構)の認定を受けました

埼玉医科大学のミッション～Your HAPPINESS Is Our HAPPINESS～あなたの幸せが私達の幸せです

海外での医療支援1

ミャンマー医療支援

心臓血管外科

診療部長 新浪 博

当科では国際医療センターの名前にふさわしく開院時より、海外と積極的に交流を行っております。最近ではアウン・サン・スー・チー氏による政権交代で世界的に注目を浴びているミャンマーに医療支援活動を行っています。2013年春にはじめてミャンマー最大都市ヤンゴンを訪れる機会があり、Yangon General Hospital (YGH) の心臓外科チーフの Prof. Khin Maung Lwinより当院の心臓外科チームの手術支援を要請され、帰国後小山 勇 病院長に相談させていただき、快諾を頂き、ミャンマーで手術をする準備を始めました。YGHには我々日本以外にもスイスとオーストラリアのチームが心臓外科の支援を行っており、スイスは主に大動脈瘤の手術、オーストラリアは弁膜症・先天性心疾患を担当し、我々は冠動脈疾患を支援することとなりました。日本で普通に使用している医療器具さらには薬までなかったりする環境であり、冠動脈バイパス手術を人工心肺を使用しないオフポンプバイパス術 (OPCAB) で行うことが経済的にも良いと考え、またミャンマーではOPCABが普及していないこともありこの術式を中心に指導することとしました。約半年かけて安全にYGHで手術を行う計画を立て2013年10月に当院心臓血管外科チームでプロジェクトを開始しました。当科の外科医が2名、麻酔科北村晶教授のご好意により有山淳准教授、ME部の吉田譲主任ではじめました。YGHは赤煉瓦の立派な建物で2000床を有する巨大病院ですが築150年も経っているので雨期には雨漏りのする状態です。心臓外科専用の手術室は1つ、ICUは4床です。2015年12月までに計6回、手術件数では60件ほどになります。現地医療スタッフと英語でコミュニケーションをとりながら、1週間の短い滞在期間中に10件前後の手術を行っています。日本と

ミャンマーでは医療に差があり、日本ほど優れた環境は整っておらず医療施設・設備に加え、手術道具も大きく異なります。そのため、ミャンマーで日本と同じ手術を行うために、あらゆる事態を想定し、手術道具を自分たちで日本から持参しています。こういった準備とさらには現地の暖かい協力のもと幸い現在まで行った患者様は皆様元気に退院されました。



YGHにおける手術風景

ミャンマーは訪れるたびに大きなビルが町に建ち年々近代化していますが我々の支援する医療の分野はまだまだ発展途上です。3年後をめどに日本政府の援助でJICA（国際協力機構）がYGHの隣に循環器病院を建築することが決まり、我々も手伝って欲しいと要請を受けています。

こうした海外支援を通して、文化や医療体制に相違があっても、医療スタッフが患者さんの回復を願う気持ちは世界共通なのだと実感します。今後も当科では、国際医療センターの名前の通り国際力を発揮できるように努力して参ります。



YGHのスタッフの皆さんと（2015年6月YGHにて）



YGHの外観

2015年12月13日～20日、私は3度目となるミャンマーを訪れました。12月のミャンマーは乾季で、日中30℃を越す気温ながらカラッとしており、たいへん過ごしやすい時期であります。過去2回の訪緬（ほうめん・ミャンマーの漢字表記は「緬甸」）は雨季で、空気はジメツと重く、くるぶしが浸かるくらいまで道路が冠水するほどのスコールに何度も見舞われました。

訪緬の目的と私の役割

私の訪緬の目的は、心臓血管外科 新浪教授の現地「Yangon General Hospital (YGH)」での心臓手術の介助が主となります。YGHは年間200～250例程度の心臓手術実績のある施設で、そこに2013年から年に2回のペースで訪れ診療活動している本プロジェクトのハートチームの一員として、私は2014年から参画しています。我々チームが滞在中の月～金のウィークデイでだいたい1日2例ずつ、普段、手技の難度が高くてYGHでの実施が難しい「人工心肺非使用心拍動下冠状動脈バイパス術（OPCABG）」を中心に、最近では再手術などの重症かつ複雑な人工心肺症例2～3例が予定に組まれて待っています。私は体外循環技士として、OPCABGのときの循環動態急変時のスタンバイや、現地スタッフが操作する人工心肺のサポートおよび指導が役割となります。

ミャンマー人スタッフの育成

今回は私にとって、特に思い入れが強い訪緬でした。ミャンマーでは我々技士のような制度そのものがなく、人工心肺は普段、麻酔科医が操作している状況です。このプロジェクトが良好に回を重ねる中、2年前にYGHの

心臓外科主任教授より、人工心肺操作の専任スタッフ育成というパイオニア的意向を告げられ、その第一歩として、ミャンマーの看護師資格を有する女性2名に対する研修を依頼されました。当院にて3か月間、人工心肺の知識および操作技術習得のための研修を実施する運びとなり、昨年の4月～7月に実現しました。英語を共通言語とし、ただたどしくもお互いにコミュニケーションを図り、当院のマニュアルの英訳版を教科書に、シミュレータを用いた模擬操作から始まり、実際の手術において実際の操作に近似した形での指導等、心臓外科医、当部スタッフにより、密度の濃い研修を提供できたのではないかと思います【写真①】。そんな彼女たちを送り出して初めての訪緬が今回で、彼女たちが現地の環境でどのように成長しているのか、また、単独で安全に操作できているかを修了検定として見極めることが、楽しみの一つでもありました。

現地での診療活動

予定が組まれていた人工心肺症例は再々手術という重症例でしたが、その日担当となった彼女は、現地での指導者である麻酔科医とともにテキパキと準備を進め、一つ一つ安全を確認しながら操作し、無事に人工心肺を離脱して手術を終えることができました。十分に立派な姿を見ることができて、本当によかったです【写真②】。

このプロジェクトは今後も継続と伺っています。我々の精一杯良質で安全な医療を提供し続け、現地スタッフとの友好関係を益々深めていきたいです。

最後に、念願だった京都観光にて華やかな浴衣を身にまとい、満面の笑みでポーズを決める研修生二人を紹介して、稿を結びます。【写真③】。



写真①「当院での研修の様子」



写真②「ミャンマーでの診療活動の様子
（人工心肺操作の介助・指導－手前筆者－）」



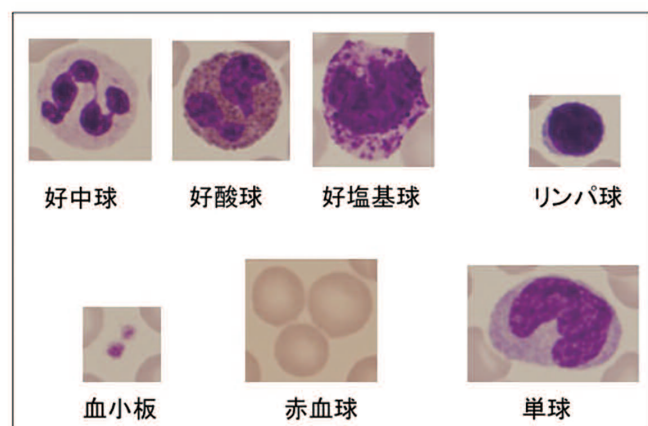
写真③「浴衣姿の研修生（帰国前の京都観光にて）」

造血器腫瘍科の自己紹介

当科では、白血病やリンパ腫などの血液腫瘍をはじめ、血液疾患全般の診療と教育、研究を行っています。

当科の起源は、昭和47年に開設された埼玉医科大学第1内科に遡ります。平成19年、国際医療センターの誕生に伴い、大学病院血液内科から分離しました。2つの診療科をあわせると70床以上を有する全国でも有数の血液内科です。

患者さんには臨床研究や治験を通して最先端の医療を提供することを目標としています。医学部学生や研修医には骨身を惜しまず教育することを信条としています。造血器腫瘍はいまだに難治の疾患群ですが、血液疾患に対する高度先進医療と地域医療に邁進し、多くの患者さんの診療に貢献していきたいと考えています。



顕微鏡で見た正常血液細胞

担当させていただく病気

血液疾患は赤血球が減少する貧血性疾患、白血病のがんである白血病やリンパ腫、血小板や凝固因子の異常による出血性疾患に大きく分類されます。大学病院血液内科と役割分担して、当科では白血病やリンパ腫などの造血器腫瘍を中心に診療を行っています。

造血器腫瘍科の新規患者さん

	平成24年度	平成25年度	平成26年度
急性白血病	13	20	31
慢性骨髄性白血病	2	8	6
骨髄異形成症候群	22	10	14
再生不良性貧血	4	3	1
悪性リンパ腫	94	105	155
同種造血幹細胞移植	8	7	7
自家造血幹細胞移植	6	5	5

造血器腫瘍の治療

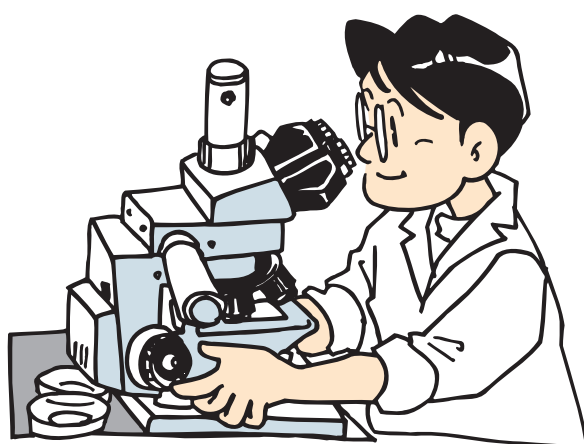
白血病は、骨髄で異常細胞が増え、正常な造血機能が障害されます。酸素を運搬する赤血球、感染を防御する白血球、出血を防ぐ血小板が造られなくなり、貧血、感染、出血を起こします。白血病には急性や慢性などいろいろな種類があります。

骨髄異形成症候群では、骨髄の造血幹細胞に異常が生じ、細胞の成熟が障害されます。白血病と同様に、貧血、感染、出血などの症状が現れます。また、急性白血病に移行する場合があります。

悪性リンパ腫は、リンパ組織から発生する腫瘍です。多数の組織型があり、治療の選択肢も多岐にわたります。また、リンパ節以外のいろいろな臓器にも発生するため、多くの診療科の先生と協力して診療を行なっています。

造血器腫瘍では、抗がん薬による化学療法を基本とし、一部では造血幹細胞移植が行なわれます。また、慢性骨髄性白血病に対するイマチニブやリンパ腫に対するリツキシマブ、急性白血病の一部に対するレチノイン酸などのように、腫瘍特有の異常分子を標的とした治療薬が開発され、画期的な効果が得られています。

当科のE6病棟では、6床の造血幹細胞移植用無菌病室と30床の無菌病棟を備えています。診療は、十分な説明と同意の上、質と安全性の高い医療を行うことを常に心がけています。また、全国組織の治療研究グループに参加し、各種疾患の最先端医療を提供できるよう努めています。



患者サロンに参加してみませんか。

看護部

副看護師長 乳がん看護認定看護師 小島真奈美

2015年1月に患者サロンを設立し1年が経過しました。患者サロンは、緩和医療科医師とがん外来、病棟に関わる看護師、がん相談支援センターで運営しています。

開催は、毎月第3土曜日13:00～15:00、C棟3階ラーニングセンターで行っています。

患者サロンとは

患者サロンは、がんの患者さんやご家族がお互いの気持ちや体験をお話し、聞く場所です。参加することで、ご自身の考えを整理したり、役立つ他の方の考えを聞くことができます。また、さまざまな患者さんやご家族と親睦を図ることができます。

患者サロンの様子

患者サロンは、2部構成になっており、1部はミニレクチャー、2部は参加した患者さんやご家族とお話をしたり、聞いたりします。

1部では、痛みの薬、こころのケア、リハビリ方法、爪のケア、治療音楽療法などさまざまミニレクチャーを30分ほど行ってきました。

2部では、病気の種類、年齢に関係なく自分自身の思ったことや感じたことを率直にお話をしたり、聞いたりします。話題は、病気や治療に限らず、どのような話題でも構いません。また、ここでお話をしたことや聞いたことはこの場限りという約束をしているため、自身の気持ちや家での出来事などをお話することもあります。

参加した患者さんやご家族からは、「参考になった」「自分のことを安心して話せた」「自分だけがつらいのではないことが分かった。治療も頑張れる」などの感想がありました。

また、参加方法として1部、2部の両方を参加することや1部のみあるいは2部から参加することも可能ですので、ご自身のご都合で参加していただければと思います。

参加にあたり5つのお願い

参加する患者さんやご家族に5つのお願いをしています。

1. 自分のことを自分の言葉で話しましょう。
2. 人の話は評価しないで聞きましょう。
3. ここでの話は、ここ限りにお願いします。
4. 診断、治療のお話をするところではありません。
5. 特定の治療や薬、食品、宗教など推奨する場ではありません。

以上をお願いしており、安心してサロンに参加できるよう心掛けています。

今後の患者サロンの予定

埼玉医科大学国際医療センター

患者サロンのご案内

- 開催日時：毎月第3土曜日13:00～15:00
- 場所：C棟3階ラーニングセンター
- 申し込み不要

問い合わせ先：がん相談支援センター、外来看護師
042-984-4329

予定：2016年 5月21日 早期からの緩和ケア
6月18日 栄養について
7月16日 皮膚、爪のケア



※写真掲載については、参加された方の許可を得ております。

看護師募集中!!

最も環境の整った大学病院で、

地域に密着した高度な医療に貢献しませんか。

※病院見学、インターンシップ、いつでも大歓迎!! Facebookも更新しています!
詳しくはQRコードより

看護師求人ホームページ <http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/nurse>

看護部 Facebook ページ <https://www.facebook.com/smu.nurse>

埼玉医科大学 総務部 人事課 0120-61-1181 TEL: 携帯の方 049-276-1115



グレープフルーツはなぜいけないのでしょうか？

ある特定の併用を注意する薬とグレープフルーツ（ジュースも含まれます）はなぜいけないのでしょうか？

グレープフルーツ中に含まれるフラノクマリン類というものが、薬どうしの薬物間相互作用に影響をもたらすことが考えられています。

グレープフルーツに含まれるフラノクマリン類というものによって小腸における薬の代謝酵素（CYP3A4）の働きが不可逆的に不活性化されるため、消化管吸収時にその薬の代謝が減少し、吸収が増加します。それによって薬の血中濃度が上昇してしまい、副作用も増強されてしまう恐れもありますので、グレープフルーツの摂取をしないようにします。

患者さんの中には、薬とグレープフルーツの飲み合わせが悪いと聞くと、グレープフルーツそのものが体にとって悪いと思う方がおられます。グレープ

フルーツが問題になるのはある特定の薬と一緒に飲んだときです。薬といっても全ての薬がグレープフルーツと相性が悪いわけではありません。相性の悪い薬は医師や薬剤師の方から説明しますからご安心下さい。

抗がん薬（経口分子標的薬）の中にもグレープフルーツ（ジュース）との相互作用が考えられるものがあります。柑橘系の果物のうち、グレープフルーツ以外にも薬物間相互作用に影響をもたらすものがあるので一覧を作りました。

※がん専門薬剤師によるサポート外来

現在包括的がんセンター外来では、がん専門薬剤師が、がん治療で通院される方々に対して、主治医の先生と連携して、薬の副作用対策や確認、服薬指導、治療に関する相談などを行っております。何かありましたらお声がけ下さい。医師や看護師を通してお声がけいただいてもかまいません。

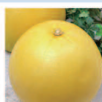
CYP3A4で代謝される主な経口分子標的治療薬

一般名	商品名
アキシチニブ	インライタ [®]
アレクチニブ	アレセンサ [®]
イマチニブ	グリベック [®]
エベロリムス	アフィニトール [®]
エルロチニブ	タルセバ [®]
クリゾチニブ	ザーコリ [®]
ゲフィチニブ	イレッサ [®]
スニチニブ	スーテント [®]

一般名	商品名
ソラフェニブ	ネクサパール [®]
ダサチニブ	スプリセル [®]
ニロチニブ	タシグナ [®]
バゾパニブ	ヴォトリエント [®]
ラパチニブ	タイケルブ [®]
レゴラフェニブ	スチパーガ [®]

影響を与えるもの

フラノクマリンを含むもの （摂取をさげましょう）
グレープフルーツ サワーオレンジ（ダイダイ） スウィーティー ぶんたん（ざぼん） 晩白柚（ばんぺいゆ） 夏みかん はっさく 甘夏 ライム キンカン



晩白柚（ばんぺいゆ）



サワーオレンジ（ダイダイ）

影響を与えないもの

フラノクマリンをほとんど含まないもの （摂取可能です）
バレンシアオレンジ 温州みかん すだち デコポン いよかん レモン（果皮以外） かぼす ゆず



温州みかん



すだち



デコポン

現代人に不足しがちな食物繊維

食物繊維は私たちの体にとって大切な働きをすることから、タンパク質、糖質、脂質、ビタミン、ミネラルからなる「5大栄養素」に次ぐ第6の栄養素として注目されています。しかし、食生活の欧米化やライフスタイルの変化によって、現在ではほとんどの日本人が不足気味の栄養素とされます。下の表は1日に必要な食物繊維量と実際に日本人が摂取している平均量を示したものです。全ての年代・性別で摂取目標量を大きく下回る結果となっています。

<1日に必要とされる食物繊維量 (g/日) >

性別	男性	女性
年齢	目標量	目標量
15～17歳	19以上	17以上
18～69歳	20以上	18以上
70歳以上	19以上	17以上

<日本人の平均食物繊維摂取量 (g/日) >

性別	男性	女性
年齢	平均値	平均値
15～19歳	13.9	11.9
20～29歳	13.9	11.5
30～39歳	12.5	12.6
40～49歳	13.5	12.2
50～59歳	14.1	14.2
60～69歳	16.6	16.4
70歳以上	17.5	15.5

食物繊維の種類と役割

食物繊維には「水溶性食物繊維」と「不溶性食物繊維」の2種類があり、それぞれの働きには違いがあります。

● 不溶性食物繊維

水に溶けにくい繊維質で、水分を保持し膨れる性質を持っています。

- ・ 便の量を増やし、腸を刺激し排便を促します。
- ・ 腸内の有害物質を吸着し体外へ排出します。



**便秘改善 高血圧の予防
大腸がん・痔の予防**

● 水溶性食物繊維

保水力が高く、水分を抱え込みヌルヌルしたゲル状になります。

- ・ 食後の急激な血糖値の上昇を抑えます。
- ・ コレステロールの吸収を抑えます。
- ・ 善玉菌を増やし、腸内環境を改善します。



**糖尿病の予防
動脈硬化・胆石症の予防**

食物繊維を多くとる工夫

- 主食は食物繊維が豊富なものを選びましょう。



うどん1玉 (200g)
水溶性食物繊維0.4g
不溶性食物繊維1.2g



そば1玉 (180g)
水溶性食物繊維0.9g
不溶性食物繊維2.7g



精白米 (200g)
水溶性食物繊維0g
不溶性食物繊維0.6g



玄米 (200g)
水溶性食物繊維0.4g
不溶性食物繊維2.4g



食パン8枚切2枚 (80g)
水溶性食物繊維0.3g
不溶性食物繊維1.5g



ライ麦パン (80g)
水溶性食物繊維1.6g
不溶性食物繊維2.9g

- 副菜(野菜・きのこ・海藻類)を毎食摂りましょう。

副菜は食物繊維が多いグループです。野菜の摂取量は1日350g以上を目標とされています。毎食摂るように心がけましょう。

食品名	1食あたりの分量	水溶性食物繊維量	不溶性食物繊維量
モロヘイヤ	60g	0.8g	2.8g
ごぼう	60g	1.4g	2.0g
ブロッコリー	60g	0.4g	2.2g
オクラ	40g	0.6g	1.4g
エリンギ	40g	0.1g	1.6g



春野菜は食物繊維が豊富です！

- ・ 菜の花50gあたり2.1g
- ・ たけのこ100gあたり2.8g
- ・ せり100gあたり2.5g



参考資料

e-ヘルスネット 食物繊維の必要性と健康

<http://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/food/e-05-001.html>

平成25年国民健康・栄養調査

日本食品標準成分表2015

タイムアウトとは

皆さんは、「タイムアウト」という言葉をご存知ですか？

タイムアウトは、手術等の侵襲的な治療を受ける患者さんに対し、本人確認はもちろん、対象部位や手技等について、その医療行為に関係する職員全員が手をとめて呼称確認する作業で、患者誤認を防止し、安全で確実な手技の実施を目的とした、「医療安全を推進する」上で非常に重要な取り組みとされています。

放射線治療室では、患者さんに安全・安心な放射線治療を提供する目的で、病院の基本ポリシー（「侵襲的な外科手術・処置」に対して実施）より厳しい基準となる「放射線治療室にて実施される非侵襲的検査や非観血的な照射を含む全ての照射・撮影」について、必ず2名以上の職員が揃ったタイミングで、全ての患者さんを対象に「タイムアウト」を行っています。

毎回の照射開始前には、照射室内に用意された、情報システム端末や、照射装置の操作画面を確認しながら、患者さんの氏名（フルネーム）・生年月日・照射体位・固定具・照射部位の他、照射回数／

全照射回数など、その照射に必要な重要情報を、2名以上の担当職員によって相互確認する作業が、日々行われています。

また、タイムアウトの結果（チェック項目と結果の一覧）は、電子カルテシステムにも展開・記録されており、必要に応じていつでも確認できるようになっています。

さらに、照射室にご案内する前のバーコードによる本人照合や退出時の確認などについても、毎回実施され、その結果は電子カルテシステムに記録されています。

放射線治療で来室される患者さんとは、毎日の様にお目にかかりますし、毎回同じ質問「お名前フルネームと生年月日を教えてください」ばかりで大変恐縮なのですが、全ては安全な放射線治療の提供に向けた確認行為ですので、何卒ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

※放射線治療に関するご質問は、放射線治療室のスタッフまで何なりとどうぞ。

※写真はイメージです。写真内の人物は全て職員です。



写真1 治療部位等の相互確認作業



写真2 患者さん情報と本人確認

私たち臨床検査技師は、患者さんの身体の状態や病気の原因、重症度や緊急性、治療効果などを評価するために身体や臓器の「働き」を調べる検査に携わっています。臨床検査技師は、国家試験に合格し厚生労働大臣の免許を受け病院や診療などの医療機関で医師あるいは歯科医師の指示のもとに各種の臨床検査を行う専門の技術者です。中央検査部では全員が臨床検査技師の資格を持ち、検体検査や生理学的検査に従事しています。

検体検査には、微生物学的検査、血液学的検査、生化学的検査、一般検査（尿検査など）、免疫血清学的検査、輸血・細胞移植関連検査、病理・細胞診検査、遺伝子・染色体検査などがあります。

生理機能検査には超音波検査、心電図検査、心音図検査、脳波検査、呼吸機能検査、筋電図検査、聴力検査、味覚・嗅覚検査、熱画像検査、MRI検査（当院では放射線技師）、眼底写真検査（点眼を含まない）などがあります。

臨床検査技師になるには

臨床検査技師になるには現在3つの種類の学校があります。大学の保健医療学部や医療衛生学部や衛生学部などの臨床検査学科、医療系短期大学の臨床検査学科、医療系専門学校の臨床検査学科などがあります。修業年数は3年～4年です。現在では、大学院まで進むことができ、修士、博士課程を卒業する方もいます。

また、学校を卒業すると国家試験受験資格が得られ、年1回行われる国家試験に合格すると晴れて臨床検査技師となることができます。

当院中央検査部の紹介

2007年に埼玉医科大学病院から分離し、その後新人募集をしながら今現在に至っています。検体部門と生理機能検査部門、輸血・細胞移植部、採血室に分かれています。（病理検査については、病理診断部として別部門になっています。）人員構成は、医師3名、臨床検査技師52名、採血専任看護師3名で構成しています。

現在、1日当たり病棟および外来患者さん合わせて700～800名分の検査依頼（検体数では、1名につき平均3本程度採血していますので2100～2400検体、項目数に換算すると12000項目以上）があります。

大型の分析装置を導入することで、採血後1時間以

内に当日検査項目（病院内で行っている検査部指定項目）について結果報告できるようにしています。

（特殊検査については、1週間前後かかる検査もあります。）さらに採血から報告までの時間（Turn around Time）を集計し時間短縮を目指しています。

また、中央検査部は、病院実習受け入れ施設ですので、臨床検査技師を目指す学生や専門学校生の臨床実習を受け入れています。



精度管理保証について

当院中央検査部では、日本臨床検査技師会による精度保証施設認証（写真1）や毎年米国病理学会による国際臨床検査成績評価事業（写真2）、日本医師会、埼玉県医師会がそれぞれ主催する精度管理事業に参加し、良好な成績評価を受けています。



写真1



写真2

入院して治療を受けている子供達に学習の空白を作らないために

院内学級って？

日高市立高麗川小学校たんぽぽ院内学級 担任 石田 友美



私たちの学級は、C棟2階のヘアサロンの並びにあります。平成22年4月埼玉県立日高養護学校小学部の訪問教育を受け継ぐ形で開設されました。正式名称を日高市立高麗川小学校病弱・身体虚弱特別支援学級といい、高麗川小学校の分教場であります。

正式名称からも分かる通り、通常の学級ではなく特別支援学級となります。行っている授業内容やカリキュラムなど、病気を抱えて通う子供のために色々と配慮されているところがあるため、通常の学級とは異なるところもあります。

授業時間・日課について

通常学級の小学校は45分を1校時間として授業を行っています。ここでは、1校時間を午前中は40分、午後は35分としています。1時間目の開始は、朝の会を9時20分から始めるため、1時間遅れとなります。治療や検査のために遅れてきたり途中で抜けたることもありますので、遅刻早退というものはありません。1日のうちに少しでも授業を行うことができれば出席として扱っています。

授業について

学習については、本校の通常学級とほぼ同じ内容、同レベルの学習を行っています。ほぼというのは、体育の授業がない代わりに、病気のために心の安定を図ったり、自分の体や健康についてのことを学んだり、前籍校のお友達との関係を保つために、お手紙を書いたりする自立活動という時間があるからです。さらに、1年生から6年生までが同時に1学級（複式学級）で学んでいます。ですから、授業は、ワークシートに記入して自分で学習を進めていく個別学習が中心となっています。病気で休んでいる期間の学習に支障がないように、特に保護者の方が心配される



国語、算数、理科、社会については、しっかり時間を取って授業を行っています。

院内では、教師が病棟のベッドまで出向いて授業（ベッドサイド学習）を行うこともあります。教室には行けないが調子が少しでもよいときに行います。いつもの学習を休み休み行いますが、調子によって、気分転換に読み聞かせをしたり、お話相手になったりと、状態に合わせた学習をします。

5、6年生は週1時間英語の授業があります。そのため毎週1回1時間、AET（アシスタント・イングリッシュ・ティーチャー）による英語の授業も行います。勿論ベッドサイドでも何回か行います。



行事について

始業式、終業式、修了式は、毎学期本校の式が終わったあと、校長先生、教頭先生、音楽専科の先生がきて、病院からは、院長先生、看護師長さん、ソーシャルワーカーの出席のもと、B棟6階食堂で行われています。

その他には、毎月1回、日高市立図書館の「読み聞かせボランティアさん」によるお話と工作があります。

また教科とは別に学期に1回、1年生から6年生全員を対象としたAETによる英語の授業もあります。

昨年12月には、子供たちの提案によりクリスマス会を開くことができました。

毎学期1回から2回程度、ローソンの隣で行う院内作品展をおこなっています。是非励ましの感想を書いて頂けると子供たちの励みになりますので、見かけたときにはご協力をお願い致します。

この病院に2～3週間以上入院している小学生は、担当医の許可があればだれでも入って一緒に勉強することが出来ます。ソーシャルワーカーさんか、私たちの方へ相談しに来て下さい。



腰痛との付き合い方 その4

体幹の柔軟体操

リハビリテーションセンター

理学療法士主任 高石真二郎

前回お話しした運動療法において、筋力強化と同等に重要である体幹周囲の柔軟体操を今回はご紹介いたします。前回も記したように腰痛に対する運動は多様であり、本紙でのご紹介はその一部であることをご了承ください。

柔軟体操を行うことには2つの意味があります。一つは脊柱周囲の柔軟性によって腰部周辺組織の血液循環

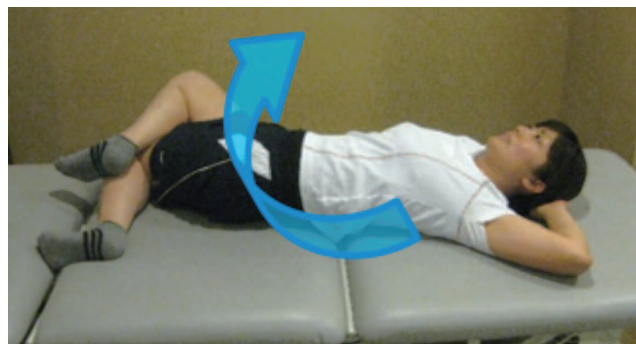
と椎間関節（脊柱の可動関節）の動きを滑らかにし、腰を動かす時の痛みの軽減が図れます。

もう一つが姿勢です。姿勢が悪いことは腰痛症の原因に挙げられますが、体幹に着く筋肉を柔軟にしておくことで安静時、動作時における脊柱への負担を軽減できる姿勢（いわゆる良い姿勢や、荷物の持ち上げときの脚の動き）を取ることが容易になります。

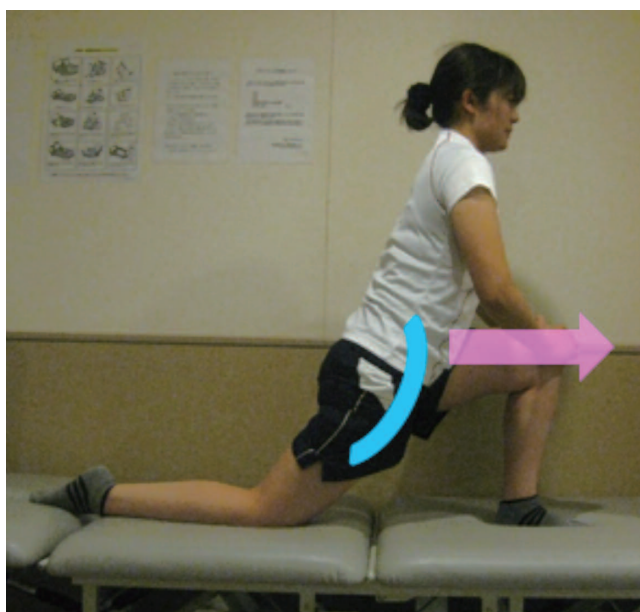
柔軟体操：各体操の時間と強さはジワ〜として『心地いい』程度に20秒から30秒程度。



腹筋のストレッチと椎間関節の動きを良くします。胸を張って肘で支えます。



腹筋群全般と腰部の筋肉を回旋させます。図のように膝を曲げて側方にねじります。



脚の付け根の筋肉を伸ばし腰が曲がるのを防ぎます。胸を張って前側の膝を曲げて体重をかけます。



背中から腰の筋肉を伸ばします。椅子に座って自分の足首をつかみます。無理な人は膝下でも構いません。

4回にわたり“腰痛に対する付き合い方”をご紹介してまいりました。本紙でのお話は、腰痛のほんの一部に過ぎません。腰痛の原因は多岐にわたり、治療方法も様々に研究されています。特に近年では精神的ストレスが原因である精神因性腰痛という治療困難な腰痛が社会的にも問題となっています。運動

療法は精神的ストレス解消に効果的です。無理のない範囲で運動療法を取り入れて腰痛をコントロールしながら充実した日々を送っていただきたいと思います。私も理学療法士として、症状を考慮した療法を提供し、患者さんを支える力になれるよう日々の業務に取り組んでいきたいと思います。

教育研究棟新築工事地鎮祭

平成28年1月21日（木）10時より、丸木理事長、別所学長および小山病院長はじめ、学内・工事関係者の列席のもと、埼玉医科大学日高キャンパス教育研究棟（仮称）の地鎮祭が挙行されました。

教育研究棟は、管理棟の北側に建設され、病院機能の充実を図るため院内にあるロッカー室、会議室、カンファレンス室等に移設するとともに、1階では研修医、学生や若手医師が外科手術トレーニングを行い、手術の進め方の理解や手術器具、機械使用等が学べます。また、5階では、人体の部分模型を利用して医療現場を模した環境で臨床技能を安全かつ効果的に学べます。実際に医療を提供する前に学ぶことで、医療技術、医療安全や治療成績の向上を図ることを目的としています。



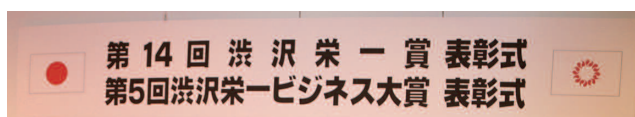
丸木清浩名誉理事長「渋沢栄一賞」を受賞

この度、丸木清浩名誉理事長が第14回「渋沢栄一賞」を受賞しました。「渋沢栄一賞」は、埼玉が輩出した偉人渋沢栄一の功績を顕彰するとともに、渋沢翁の精神を今に受け継ぐ全国の優れた経営者の中から選ばれ贈られるものです。今年度は丸木名誉理事長のほか3名が受賞しました。

丸木名誉理事長は、医学教育、大学運営を通して、埼玉県ひいては我が国の医学・医療の発展に大きく貢献、さらには地域医療を担い埼玉県及び我が国における医療・精神保健・福祉の増進に大きく寄与した功績が認められ、今回の受賞となりました。

平成28年2月4日（木）、ソニックシティ国際会議場において、表彰式と祝賀レセプションが開催されました。丸木名誉理事長には、主催者である上田清司埼玉県知事から表彰状が、また渋沢翁の出身地である深谷市の小島進市長から渋沢栄一翁のブロンズ像をいただきました。

丸木名誉理事長は、祝賀レセプションの席上、「埼玉県が輩出した偉人渋沢栄一翁を顕彰する渋沢栄一賞の受賞という栄光に浴し、大変感激しています。私がこれまでこれたのも数多の方々のご支援の賜物と思っています。これからも生ある限り、栄誉ある同賞の名に恥じぬよう、世の中のお役に立って参りたく存じます」と挨拶しました。



第8回市民公開講座（報告）

市民公開講座実行委員会

こんな時こそ119番

芝崎はるみ/新井広志/倉林靖浩

平成28年3月19日（土）、「こんな時こそ119番」をテーマに第8回埼玉医科大学国際医療センター市民公開講座が開催されました。

今回は、体験コーナーにて、AEDを用いたBLS（一次救命処置）の体験を催し、“普段は見れないので、ためになった”と感想をいただき好評でした。スタッフ一同、大変喜ばしく思っております。今回の経験を活かし、今後も来場者がより満足のいく市民公開講座を開催できるように努めてまいります。



心に響く癒しのコンサート



相談コーナー

◆プログラム

・12：00～「心に響く癒しのコンサート」

・13：40～講演

「みんなの救急医療」

救命救急科 教授 根本 学

「救命で鍵にぎる病院どうしの連携」

社会医療法人社団新都市医療研究会（関越）会

関越病院 院長 田中 政彦

「当院回復期リハビリテーション病棟の紹介」

医療法人靖和会 飯能靖和病院

理事長・院長 木川 浩志

「坂戸鶴ヶ島消防の現状－少しでも早く医療機関に受診するために－」

坂戸・鶴ヶ島消防組合消防本部

「大切な人が突然危篤に！どう考える？」

急性・重症患者看護専門看護師 新山 和也



講演

次回の市民公開講座（お知らせ）

市民公開講座実行委員会

■ 次回の市民公開講座は、**包括がんセンター**の主催で以下の日程で行われます。

◆ 第9回市民公開講座

- ・テーマ：「がんをもっと知ろうパートⅣ」
- ・日時：2016年5月14日（土）11：45開場

◆ 第10回市民公開講座

- ・テーマ：「がんをもっと知ろうパートⅤ」
- ・日時：2016年8月開催予定

◆ 会場：埼玉医科大学創立30周年記念講堂ホール
（日高キャンパス）埼玉県日高市山根1397-1

◆ 相談コーナー 12：00～16：00
お薬、看護、医療、栄養、リハビリの相談コーナーがあり、どなたでもご相談できます。

◆ 予約は不要、参加は無料です！お気軽にお立ち寄りください。
問合わせ：市民公開講座実行委員会
TEL：042-984-4638

お寄せいただいたメッセージの紹介

医務課

お寄せいただいたメッセージと共に、メッセージの内訳を紹介します

芝崎はるみ/天野和美

当院は、患者さんやご家族の皆様のたくさんの“ありがとう”に支えられており、ありがとうメッセージをいただけることは職員にとって大きな励みとなっています。また、ご意見・ご要望につきましては院内で検討のうえ、病院運営の改善に活かしてまいります。

皆さまの応援を励みに、これからも良い医療をめざします。

メッセージは、院内に設置してあります「ご意見箱」へご投函してください。

【皆さまから届いたメッセージの一部を紹介します】

《消化器内科 D棟5階病棟へ》

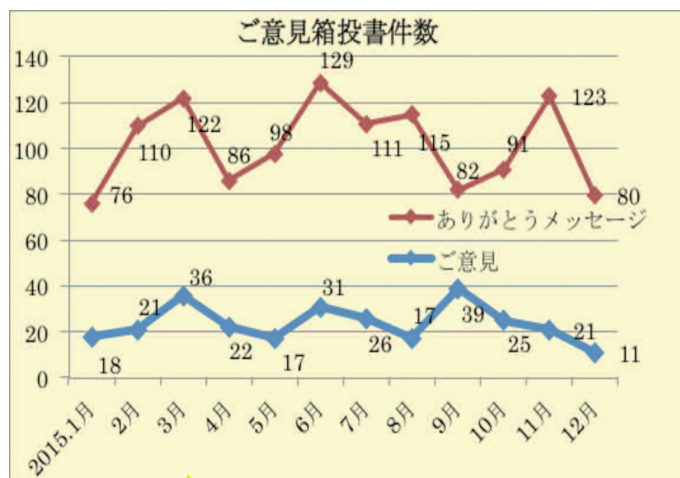
この度、入院にて検査、治療を受けさせて頂いた際に、医師の方、看護師の方、又、職員の方々には、この上ない心のこもったご慈愛を頂き、大へん感謝しております。不安より受け止める気持ちが湧いて来たのも皆様のおかげです。心よりお礼申しあげます。日々忙しく大へんな事ですが、お体等ご自愛下さってお仕事にお励み下さい。

《脳卒中内科 A病棟へ》

数秒で半身が動かなくなり自分の身体に何が起きたのかわからなかった。それを助けてくださった、多くの医師、看護師、リハビリの方々には感謝申し上げます。細かい動作を見逃さず言葉をかけていただいたり、たくさんの手を借りて1ヶ月が過ぎました。この先も頑張らなくてはと思います。本当にお世話になりました。

《泌尿器腫瘍科 E棟3階病棟へ》

お世話になりました。はじめは平気と思っておりましたが、手術が近づくにつれ不安が出始めました。しかし、説明を聞き皆様に接するうちに平常心で手術を受けることが出来ました。お礼申し上げます。皆様も交替勤務は大変なことと思いますが、お身体だけは大事になさってください。一人でも多くの方が救われますよう願っています。



平成27年1月～12月にお寄せ頂いたメッセージの件数は、1507件でした。

【ご意見箱設置場所】

総合コンシェルジュ	C棟1階
入退院ラウンジ	C棟1階
画像診断受付	C棟2階
救命救急センター受付	B棟1階
各病棟食堂	

入院手帳にも記入用紙がついております。

お寄せいただいたメッセージの一部はC棟2階に掲示しています。



<これからも病院機能の向上及び患者サービスに努めてまいります。>

私の時間

ねこと暮らす

“私の時間”のテーマで、エッセイを書くようにとの仰せ付けでしたので、おひきうけしたのですが、当院に赴任しておおよそ1年半、新しい仕事に慣れるのに精一杯でとって“私の時間”など持てないのが現状です。この状態を癒してくれるのが、ねこの『うらきち』です。昨年春に、9年ぶりに単身赴任が解消し、妻といっしょにはるばる九州から埼玉にやってきました。猫は家につくというので、こっちに来て体調がわるくなるのではないかと心配しましたが、来た日からごはんちょうだいとのどを鳴らしてまとわりついてきました。15年前、息子が近所で拾ってきた正真正銘の雑種駄ねこです。もう老猫といっていい齢ですが、足腰はしっかりしていて、仕事机に飛び乗ってきます。パソコンのキーボードをピンクの肉球で押して、仕事の邪魔をします。す〜んごい食いしん坊で、1日3食を要求します。べちゃべちゃしたごはんは嫌いでもいつもカリカリです。おかげで、体重6kgとなり「ためきねこ」化していますが、今のところ病気知らず。妻がでかけていて私が先にかえってくると、玄関先まで迎えにきて

緩和医療科

教授 高橋 孝郎

くれます。妻が家にいると知らん顔ですが…。私のお気に入りのソファは完全に『うらきち』に占領されてしまいました。今日もソファの真ん中で丸くなって寝ています。知らない人がくるとクローゼットに入り込んで完全に気配を消してしまう「忍ねこ」です。こんなねこといっしょにいるのが“私の時間”です。うーん満足。



私の時間

私の休日

2016年1月から国際医療センターに赴任しました。前任地では1人で骨軟部腫瘍の患者さんをみていたため、病院に行かない日は殆ど無い状態でした。結婚前からそうでしたので、妻も子供もそういうものだと思っている様でした。埼玉医大国際医療センターではチーム医療で休日は交代制となっており、病院に行かない休日を持てるようになりました。子供達は、お父さん日曜日は仕事に行かないんだという感じで、どうも違和感があるようです。今後だんだん慣れることでしょう。

時間に余裕のある休日は午前中に買い物に行って、お昼は皆で外食、午後は気が向いたら料理などしています。料理は一度に沢山作れて保存がきくものが中心で、自分が食べたいものか小中学生の子供の好きなものを作ります。野菜スープ、シチュー、おでんなどが多いです。最近では子供達も料理に興味でたようで、インターネットの料理レシピサイトを見ているように作ようになりました。上手につ

骨軟部組織腫瘍科・整形外科

准教授 鳥越 知明

くれることもあります。いま一つの出来のこともあり、そういったことを皆で話しながら食べるのも楽しい時間です。



外来診察予約について

【外来予約センター】（8:30～17:00）
☎042-984-0474 ☎042-984-0475

- * がんセンター受診の際には紹介状をお持ちください。
- * 心臓病・脳卒中センターでは急を要する際、紹介状をお持ちで無い場合でも受診可能ですので、ご連絡ください。
- * 当院ホームページから外来診療（初診のみ）のインターネットでの予約を受け付けています。医療機関からはもちろん、患者さんや御家族がご自宅から予約可能です。ご利用ください！
詳しくは、埼玉医科大学国際医療センターHPをご覧ください。
<https://www2.saitama-med.ac.jp/simc/yoyaku/index.php>

面会について

【面会時間】

（平日） 午後 1 時 ～ 午後8時
（土・日・祭日） 午前11時 ～ 午後8時

上記時間以外のご面会はお断りしております。

【面会受付】

C棟1階総合コンシェルジュにて受付をし、面会証をお受け取りください。

- * アレルギーや香りに敏感な患者さんもしらっしゃいますので、お花はご遠慮ください。

- * 小学生以下（12歳未満）のお子様の面会にご遠慮いただいております。



基本理念： 患者中心主義のもと安心して安全な満足度の高い医療の提供を行い、かつ最も高度の医療水準を維持するよう努めます。

使命： 当センターは、埼玉県全域を範囲とし、がん、心臓病に対する高度専門特殊医療に特化し、かつ高度の救命救急医療を提供します。

基本方針： 上記の理念に従って患者中心主義（patient-centered）を貫き、あらゆる面で ” 患者さんにとって便利 ” であることを主眼とし、患者さんひとりひとりにとって最も適切な医療を提供致します。

患者さんの権利： 当センターは、全ての患者さんには、以下の権利があるものと考えます。これらを尊重した医療を行うことをめざします。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| (1) ひとりひとりが大切にされる権利 | (2) 安心して質の高い医療を受ける権利 |
| (3) ご自身の希望を述べる権利 | (4) 納得できるまで説明を聞く権利 |
| (5) 医療内容をご自身で決める権利 | (6) プライバシーが守られる権利 |



表紙写真：癒やしの庭園

写真提供：医療安全対策室室長

造血器腫瘍科 准教授 川井 信孝

埼玉医科大学国際医療センターニュース

May 2016 第36号【院内配布用】

編集・発行 埼玉医科大学国際医療センター広報委員会

〒350-1298 埼玉県日高市山根1397-1

TEL：042-984-4128

発行責任者 小山 勇

発行日 平成28年5月1日

※本紙記載の写真・記事の無断転載および、複写を禁じます。